

平成 28 年度事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田 国元



平成 29 年 6 月

平成 28 年度事業活動の概要

平成 28 年度は、堀田国元代表理事(理事長)、中山武久(常務理事:財務担当)、矢野一好(常務理事:事業担当)、7名の理事(芝燐彦、藤原功一、森澤紳勝、菊地憲次=新任、岩澤篤郎=新任、石井良和=新任、丹波章淋=新任)、2名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)の役員体制、および事務局 3 名(都筑洋子、中藤誉子、福島宏和)体制で事業運営を行った。事業活動に関しては、公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて実施した。以下にその概要を示す。

1. 機能水及び機能水生成器に関する研究助成事業の推進

1) アルカリイオン水の作用機序に関する研究

① 内藤裕二(京都府立医科大学 准教授)

バイオインフォマティクス解析による飲用アルカリ性電解水の腸内環境改善作用

② 佐藤 勉(日本歯科大学東京短期大学 教授)

アルカリイオン水の再石灰化促進機構の解明と同水飲用後の齲蝕細菌の変化について

2) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

① 小山勝弘(山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)

全身性の疲労困憊運動パフォーマンスに対するアルカリイオン水摂取の影響

② 早川享志(岐阜大学応用生物科学部 教授)

アルカリイオン水と水素水の生体内抗酸化効果の比較研究

2. 機能水及び機能水生成器に関する調査研究事業の推進

調査研究推進のために、以下の委員会において検討を行うとともに、各種の研究委託を実施した。

1) 飲用アルカリ性電解水評価委員会: アルカリイオン水の作用機序その他の研究

2) 次亜塩素酸水生成装置 JIS 化委員会: 新市場創造型標準化制度の活用

3) 次亜塩素酸水標準化委員会: 次亜塩素酸水によるカット野菜洗浄方法の評価、標準化の検討

4) 内視鏡洗浄消毒器委員会: 国の施策(「対策型がん検診」対策)に対する対応策の検討

5) 機能水技術認定委員会: 機能水技術認定制度の確立に向けての検討

<研究委託>

1) 機能性ダイヤモンド電極を用いた機能水用センサーの研究

栄長泰明(慶應義塾大学理工学部化学科 教授)

2) アルカリイオン水の食材成分抽出効果(昆布だし及び煮干しだし)に関する研究

数野千恵子(実践女子大学生生活科学部 教授)

3) アルカリイオン水の運動パフォーマンス、集中・判断力に及ぼす効果検証

小山勝弘(山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)

4) カビに対する微酸性電解水の効果検証

高鳥浩介(NPO 法人カビ相談センター 理事長)

3. 機能水及び機能水生成器に関する成果の普及促進事業の推進

事務局が主体となって以下の活動の企画・実施、あるいは支援を行った。

1) 学会等活動支援:

① ウォーター研究会: ・セミナー(第 67 回・69 回)共催、2016 年 7 月、2017 年 3 月、東京

- ② 関西ウォーター研究会：・第 18 回講演会共催、2016 年 7 月、豊中市
- ③ 日本機能水学会：・第 15 回学術大会共催：2016 年 9 月 10～11 日、京都
・「機能水研究」編集：第 12 巻
- ④ 日本口腔機能水学会：・第 18 回学術大会後援：2017 年 3 月、東京
- ⑤ 機能水研究振興財団：・研修会 3 回(7 月東京、9 月京都、3 月東京)、国際交流(CKJ:9 月)

2) 展示会

- ① 5 月: ifia JAPAN 2016(東京ビッグサイト)、食の安全・科学ゾーン: 展示および講演
講演: 「次亜塩素酸水の新展開」: 堀田国元
- ② 9 月 フードセーフティジャパン(FSJ)2016(東京ビッグサイト) 展示および講演
講演: 「機能水(次亜塩素酸水)による調理環境の衛生管理」 堀田国元

3) ランチョンセミナー: 「アルカリイオン水の過去・現在・未来」主催、9 月、於: 第 15 回日本機能水学会

4) 「日本機能水学会第 15 回学術大会」紙上抄録: 朝日新聞(平成 28 年 10 月 31 日夕刊)

5) 出版物

- ① ニュースレター発行: 6 回(No.71～76)
- ② チラシ作製: 「機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の留意点について」
「アルカリイオン水・アルカリイオン整水器認可 50 年」
- ③ 各種既出版物の頒布

6) 広報およびコンサルティング

- ① 上記成果について随時ホームページにアップ
- ② 公共団体、一般等からの機能水に関する各種問合せへの対応

以上